

2000.6.6

ユニチカ株式会社

PVA 系新規耐水性樹脂「D ポリマー」の開発について

当社は、ポバール（ポリビニルアルコール・PVA）系の新規耐水性樹脂「D ポリマー」を開発し、年内に年間 2000t 規模で量産を開始いたします。

「D ポリマー」は従来にはない、全く新しい製法を確立し、水溶性に起因する高い造膜性を生かしつつ、耐水性を兼ね備えることに成功したものです。

紙用薬剤、接着剤用原料などの一般産業資材用途を開拓し、ホルムアルデヒド吸着性能等を付与し、住宅建材分野などへも進出する予定です。

3 年後には年商 30 億円事業に育成する計画です。

「D ポリマー」は、ユニチカおよび関連会社のユニチカケミカル（本社・大阪府堺市、間健一社長）が開発した水溶性の高機能樹脂です。PVA 分子内に反応性の高い官能基を付与することで分子間を強固に化学結合させ、従来のポバールと同等の造膜性、皮膜の強靱性、透明性、耐油性を有しながら、100 度 C 以上の熱水にも不溶という耐水性を兼ね備えています。

PVA は従来から水溶性樹脂として、繊維用糊剤や紙加工剤をはじめ広範囲な分野で利用されていますが、食品包装材や製紙用補強剤など一部の用途では、皮膜状態での耐水性を求める声が強くありました。すでに市場投入されている耐水性ポバールは、水素結合による結晶化で耐水性を付与しているため、熱水に弱く、後工程での耐高温熱処理性や強酸性など過酷な条件に対応できません。

一方、「D ポリマー」は常温乾燥のみで高耐水性皮膜が得られるうえ、これまで可使用時間が短く使用が困難とされていた架橋剤との併用でも、数カ月間ゲル化が起こりません。用途としては当面、感熱紙用トップコート層など紙用薬剤をはじめ、接着剤用原料、各種乳化分散剤、特殊バインダーなどを開拓。さらに、イオン性、感光性、ホルムアルデヒド吸着性などの機能を付与し、壁紙用コーティング材など住宅建築分野にも順次進出いたします。

すでに一年前からサンプルワークを開始、実需化のめどが立ち始めたことから年内にも本格生産に踏み切る予定です。現在、価格は汎用ポバールの約 5 倍ですが、量産化によるスケールメリットでコストダウンが可能です。

関連情報

http://www.unitika.co.jp/kasei/poval_j/add/Dpoly.htm

お問い合わせ先

ユニチカ株式会社 化成事業本部 化成品営業部

東京 tel. (03) 3246-7777

大阪 tel. (06) 6281-5192